



工場内を見渡せる商談スペース



業界唯一の真空マルクエンチ処理技術を保有

毎月100以上の業務改革と 教育訓練を全社員で取り組む

菱輝技術センター 株式会社
代表取締役

原 敏城氏
(はら としき)

Company Profile

菱輝技術センター 株式会社

所在地：愛知県安城市東栄町横根畑59-97
TEL：0566-98-2501 FAX：0566-98-2504

事業内容：金属熱処理、油剤販売

エミダス会社情報：http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?5124

顧客の信頼を獲得する工場

真空熱処理の専門メーカー、菱輝技術センター株式会社は「世界一綺麗な熱処理工場」を目指している。愛知県安城市にある工場を訪れた人は皆、「世界一」という言葉に納得して帰っていく。共有テーブルや椅子も常に定位置にあり、社員全員が整理整頓を意識しているのがうかがえる。事務室にはクラシック音楽が流れ、客室には代表取締役の原氏が選んだ書籍が整然と並ぶ。顧客が安心して仕事を任せたいと感じる綺麗な工場を武器に、同社は各種部品の熱処理に力を入れている。

真空熱処理は各種金型の仕事が多く、管理が難しいと言われるトレーサビリティも完全だったこともあり、以前は自動車プレス金型の熱処理を中心に繁忙を極めていた。しかし3年前、新工場を建設したタイミングで自動車プレス金型の仕事の多くが海外へ流れてしまった。それからは経営を安定させるべく金型以外の熱処理の営業に努め、現在は売上げの5割が金型、5割が部品である。とは言え将来、熱処理の必要ない素材が登場すれば、仕事なくなる可能性も考えられる。原氏は売上げを右肩上がりしていくためには新しい事業展開が必要だと考える。それを実現させる一つの方法として愚直に社員教育と業務改善に邁進する日々である。

社員教育と業務改善で会社を強化

従業員は約40名。その内、1級熱処

理技能士が8名所在する。1級技能士試験は難易度が高く、何度か受けて諦めてしまう人も少なくない。それにも関わらず合格者が多いのは、同社が技能士の育成に最大限の努力を惜しまないからである。製造要員だけでなく全社員が教育を受けられる機会を設け、月ごとの教育・訓練計画と年間の講義予定を技術部長がまとめている。「もし、何らかの事情でこの会社を辞めることがあっても技能士資格があれば転職の時に重宝される」と原氏は語る。

業務の改善にも力を入れている。従業員は1週間に1回、業務の改善提案を提出しなければならない。これは派遣スタッフも同様である。良い案は共有スペースに貼り出し、改善前と改善後が一目でわかるように写真付きで発表もする。従業員からの提案は社長とリーダーが採点し、採点ポイントが個人の評価の一部に繋がるシステムだ。たとえば小さな改善提案でも月に100案ほど集まるのだから、毎月積み重ねられていくものは大きい。

量産・短納期も対応可能

菱輝技術センターはRV処理（真空マルクエンチ処理）技術を保有する。大同アミスター株式会社、大同特殊鋼株式会社より技術供与を受け、同社内で手を加えた。マルクエンチ処理を完全に真空中で行う業界唯一の熱処理方法である。鍛造金型やダイカスト金型に特筆すべき寿命を与え、寸法変化を極

力抑える新しい熱処理方法である。

加えて、菱輝技術センターでは日本最大級の大型炉と連続炉を導入し、量産品も迅速に対応している。一度に大量の熱処理を行うことによりコストダウンが可能。品質、価格、納期、いわゆるQCDをとことん追求する会社である。

協力企業と新たな事業を展開

また、同社は切削用油剤（水溶性及び不水）の販売を行っている。油剤販売を行うと同時に顧客の機械（マシニング等）の加工液タンクの清掃業務も請け負う。清掃を依頼した会社はその掃除の徹底ぶりや法的要求事項の遵守の姿勢に驚きの声を上げる。「こんなに綺麗になるとは思ってもみなかった」本音であろう。本業の熱処理での「世界一綺麗な熱処理工場をめざす」という精神がここにも活かされている。

使用済みの油を再生する事業も同時に展開しており、昨今の原油高の煽りも受け、順調に業績を伸ばしている。今後は社内に小型ラボを設置し、広くその技術の宣伝に努めていくつもりだ。

「オンリーワンを目指すとなるとハードルが高いが、さまざまな技術を持った企業が集まり、協力し合って社会に貢献できる事業を展開することはできる。そういった仲間と一緒に環境改善の一旦を担えれば嬉しい」

地域環境との調和に努めてきた菱輝技術センター。今後の活躍にも期待したい。